

ひらいてみちゃりい



8月担当：マツ

今月の特集

学童保育の集団の規模を考える

マツの注目①

P28 安心して関係を築ける人数に---学童保育の集団の規模を考える 編集部

学童保育は「毎日の生活の場」

そのためには…

- ① 子ども同士がお互いに知り合って信頼関係を築くことができ、遊びや生活を共有できること。
- ② 指導員が一人ひとりの子どもの状態を把握できて、信頼関係を築くこと。
- ③ 子どもが生活する場所として、快適さを保てるような空間と環境が維持されていること。
- ④ 緊急時にまとまって行動することができ、全員の安全を守ることができること。

ここから話は学童保育での困難な状況、「集団の規模」をめぐる現状と課題へと続きます
続きはほいく誌で!!!

マツの注目②

【講座】 子どもたちの「いま」 ---共に歩む大人が大切にしたいこと

子どもの「夢中」をどう受け止めるか---自律と依存の関係を考える

中西新太郎

- ・夢中と眩暈
- ・自分探し
- ・隠れたモノサシ

この3点をキーワードに読んでみると面白いですよ～（^o^）

「日本の学童ほいく」誌は、日本中の選抜された保護者、指導員、学童保育研究者の方々との編集会議をもとに、学童保育に特化して構成して作られた唯一の月刊誌です。

福岡県連協は、この月刊誌をぜひ、たくさんの保護者、支援員、学童保育関係者の方々に読んでいただきたいと思い、見どころ【ひらいてみちゃりい】を配信することにしました。

毎月、担当を変えて、それぞれの視点から見どころを紹介していきますので、ぜひ、購読申し込みをお待ちしております。

申し込み先：福岡県学童保育連絡協議会

TEL：093-662-6000 FAX：093-662-6006